



ひょうご農業法人 GUIDE BOOK

VOL.2



私たち、農業でやりがいを見つけました!

兵庫県農業経営法人化推進協議会



家業から企業へ、農業の新しいカタチ

企業として農業を営む、農業法人。

家業として受け継がれてきた農業を法人化したり、新規就農者が法人を立ち上げて就農したりと、さまざまなケースでの農業法人が誕生しています。

企業経営の中で、経営方法や働き方などが大幅に見直され、若者の就職の場としても注目されています。

第一弾に続き、この冊子では兵庫県内で奮闘している農業法人の一部を紹介します。

CONTENTS

摂 津

神戸市西区 株式会社 近藤農産	(土地利用)	3
神戸市西区 中野ファーム 株式会社リアルエステート中野	..	(野菜)	4
神戸市長田区 特定非営利活動法人 わだち	(野菜)	5
宝塚市 株式会社 王珠	(野菜)	6



播 磨

加古川市 農事組合法人 八幡宮農組合	(土地利用)	7
加西市 株式会社 中塚農園	(土地利用)	8
加東市 株式会社 こうせつ・たなか	(土地利用)	9
姫路市 株式会社 香寺ハーブ・ガーデン	(工芸産物)	10
姫路市 児島園芸有限会社	(野菜)	11
姫路市 有限会社 村上ポートリー	(畜産)	12
神崎郡市川町 有限会社 環境微生物研究所	(土地利用)	13
赤穂市 株式会社 デイリーエッグ	(畜産)	14
赤穂市 有限会社 米口グリーンナーセリー	(花き)	15

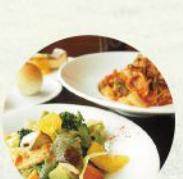
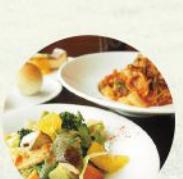


相生市 株式会社 百姓	土地利用	16	
佐用郡佐用町 東徳久地区農事組合法人	土地利用	17	
佐用郡佐用町 株式会社 みかづきe	土地利用	18	
佐用郡佐用町 株式会社 山本営農	土地利用	19	
たつの市 株式会社 ささ営農	野菜	20	
たつの市 株式会社 J McCoy	土地利用	21	
たつの市 有限会社 新宮ファーム	畜産	22	
たつの市 株式会社 博農	野菜	23	
宍粟市 一般財団法人 宍粟北みどり農林公社	土地利用	24	

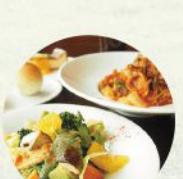
但馬

美方郡香美町 株式会社 上田畜産	畜産	25	
美方郡新温泉町 株式会社 湯村温泉愛宕山観光	土地利用	26	

丹波

丹波市 有限会社 井寄牧場	畜産	27	
丹波市 神戸高見牛牧場株式会社	畜産	28	
丹波市 有限会社 こやま園	なた豆	29	
丹波市 株式会社 竹岡農園	野菜	30	
丹波市 有限会社 たまごの郷	畜産	31	
丹波市 株式会社 パブリック・キッチン	野菜	32	
丹波市 有限会社 まるきん農林	土地利用	33	
丹波市 有限会社 ワタミファーム 丹波農場	野菜	34	
丹波篠山市 株式会社 アグリヘルシーファーム	土地利用	35	
丹波篠山市 株式会社 丹波篠山大内農場	土地利用	36	

淡路

洲本市 小山田村農場 株式会社チューリップハウス農園	複合	37	
----------------------------	----	----	---



「円満」「三者共笑」共に豊かで笑顔で暮らす社会へ

神戸市西区

株式会社 近藤農産



地

球にやさしい環境保全型農業
安全安心な栽培米を笑顔と共に提供

「株式会社 近藤農産」は、神戸市の農業振興地である神出町で、100年前から農業を営んでいます。現在は、水稻30haの生産販売と約200haの作業受託、そして水稻苗250haを提供しています。近藤良典代表は、温暖化防止への意識が高く、2011年環境保全型農業によるコシヒカリの作付けを開始。その方法は社員食堂や病院、レストラン、スーパーから排出された生ごみを堆肥化し、その堆肥を施した豊かなほ場で水稻を栽培し、収穫した米をスーパー等に納品するという循環で、環境にやさしい農業に取り組んでいます。エコファーマー、ひょうご安心ブランドにも認定され、「株式会社 近藤農産」を応援する企業や消費者は増える一方です。

私たちの思い

自然環境に配慮した農産物を生産し「食の安全・安心」を皆様に提供します。また「安定」して生産物をずっと供給し続けることが社会貢献につながると考えています。

私たちのこだわり

環境保全型農業を目指し①地力増進②化学肥料低減③農薬残留検査の実施④色彩選別機による異物除去⑤米トレーサビリティ法による情報公開⑥品質分析技術の導入に取り組んでいます。

おもな作物

コシヒカリ(特別栽培米)3.4ha、キヌヒカリ4.5ha、ヒノヒカリ21.3ha、もち米0.8ha、合わせて150tを個人消費者、スーパー、事業所食堂、米穀集荷業者等へ出荷しています。



外観



働く人

INTERVIEW



中村 弘孝さん(49歳)

大学時代にアルバイトをさせてもらい、家庭的な雰囲気で働きやすい職場だと感じ入社しました。2018年米の等級を決める農産物検査員の資格を取得。より安全でおいしいお米を提供します。



平田 新二さん(28歳)

当社でのアルバイトを経て2016年正社員へ。主に精米を担当しています。食味を上げるため、種類によって糠層を除去する厚みを変えています。人間関係が良好で楽しく働いています。

INTERVIEW OF TOP



農業の魅力を発信してくれる
人材を求めています

株式会社 近藤農産 代表取締役 近藤 良典さん

作業受託による水田耕作面積の増加により、経営規模拡大を図っています。栽培はもちろんですが、ITシステムを担当できる人材を求めています。仕事を任せるのが我社流。福利厚生を整えて待っています。

所在地 〒651-2321
神戸市西区神出町宝勢1354
電話 078-964-3453
FAX 078-965-0434
事業内容 水稻栽培、米穀販売、
農作業受託、ライスセンター
設立 2006年
資本金 1000万円
売上高 9100万円
従業員数 2名、
アルバイト3名
関連会社委託業務3名

インターンシップ
随時受け付け。詳細
は問い合わせを。



都市近郊型農業で地元消費者に愛される野菜づくり

神戸市西区

中野ファーム 株式会社リアルエステート中野



私たちの思い

消費者に安全・安心なものを届けるのは当たり前。当社では「新鮮なもの」を、年間を通じて「安定して」提供することを心がけています。

私たちのこだわり

最新技術は積極的に取り入れ、社員にどんどん技術を磨いてもらっています。若手を中心にはがんばる明るい職場から「良い作物」が生まれるものと信じています。

おもな作物

トマト(約40t)と青ねぎは通年栽培。ほかに季節野菜(きゅうり、なす、ほうれんそうなど)、食用米約7tを主にスーパー・野菜直売所、JAに出荷。



外観



環

境制御型ハウスと利便性の高い立地を生かし付加価値のある野菜を安定供給

神戸市営地下鉄名谷駅から北へ約3km。交通の利便性が高い山あいに「中野ファーム」はあります。当初3棟からはじまったトマト栽培用ビニールハウスは現在では20棟規模に。環境制御型コンピューターを導入し高床式の養液土耕栽培でトマトを生産しています。同社がある布施畠地区のほか、神戸市西区「平野」や「前開」地区では遊休農地を預かり、食用米や季節野菜を栽培。都心に近いので物流の便が良く、「新鮮」という付加価値がある中野ファームの「太山寺トマト」は、地域の消費者の人気ブランドに育っています。

働く人

INTERVIEW



荒木 貴登さん(22歳)

大学では公務員を目指していましたが、農業に興味があって2018年に兵庫県農業生活センター「就農コース」で研修を受けました。ここで農業の基礎を学んで2019年8月入社。農業のおもしろさは、日々新しい発見があって、施肥やかん水、収量の

増やし方、選別など作物に関わるさまざまな仕事に取り組めることです。休暇制度や福利厚生がしっかりしているのでとても働きやすいです。面倒見のよい専務からいつも元気をもらっています。

INTERVIEW OF TOP



**若手が中心となる職場づくりを目指しています
技術を磨いて将来を担っていってほしい**

株式会社リアルエステート中野 専務取締役 中野 邦彦さん

私自身も異業種から農業経営に転じた一人なので、農業の苦労も喜びも身をもって体験してきました。いい商品はいい職場環境から生まれると考えています。若手にはどんどん技術を磨いて当社の将来を担っていってほしいと思います。体験実習生も歓迎します。

所在地	〒651-2101 神戸市西区伊川谷町布施畠578
電話	078-940-9127
FAX	078-940-9128
事業内容	野菜・米の生産・販売
設立	2005年
資本金	100万円
売上高	3000万円
従業員数	2名、 パート6名

インターンシップ
随時受け付け。詳細は問い合わせを。



福祉事業に農業の療育効果をいち早く導入

神戸市長田区

特定非営利活動法人 わだち



農

業が人間にもたらす療育効果に着目

福祉と農業で障がい者を幅広くサポートしています

「NPO法人わだち」は、「障がいを持つ子どもたちに安心して過ごせる場を提供し、将来的自立へ向けた療育を行うことで充実した生活を送ってほしい」という思いから2007年に設立。福祉でできることの可能性を広げるため、農業に取り組む福祉事業所がまだほとんどなかった2013年、太山寺周辺(神戸市西区伊川谷町)でいちごのハウス栽培をスタートさせました。同ハウスでは就労支援を目的に障がいを持つ児童も短期で農作業を体験。保護者からは「気持ちや行動が穏やかになりました」など、「農業セラピー」の効果が生まれています。

私たちの思い

いちご栽培は当たり前のことを当たり前に行い、いいものをつくり続ければお客様はついでに来てくれます。「いちごの産地、伊川谷にあります」と言われるようにがんばっています。

私たちのこだわり

ビニールハウス内に、いちご高設栽培システムを導入。水やりや施肥を機械で自動化し、立ったまま作業できるので就労支援事業で参加する人たちの身体負担を軽減しています。

おもな作物

「出荷者／わだちファーム」で、「章姫(あきひめ)」「おいCベリー」などのいちごを年間約13t生産。ホームセンターや野菜直売店へ出荷するほか、直売所ではジャム加工して販売も行っています。



外観



働く人

INTERVIEW



長田 健一さん(52歳)

大手スーパーや神戸市中央卸売市場で販売や「せり」の仕事に従事し、2019年入社。農業の現場が好きで、営農組合の農作業手伝いをしたこともあります。「わだち」の活動方針に賛同し、お客様の笑顔を励みにがんばっています。



安富 瑞子さん(56歳)

いちごが大好きで、いちご農家をしている友人から勧められ2016年にパートとして入社しました。いちご栽培は、苗の育成など収穫に至るまで1年を通じてさまざまな仕事がありますが、そのすべてにおいて楽しく取り組んでいます。

INTERVIEW OF TOP



障がいの有無にかかわらず、農業を通じてその人が輝いて過ごせる場を提供したい

特定非営利活動法人 わだち 理事長 光武 茂さん

仕事を楽しくないと続かないものです。スタッフが楽しく仕事をすることで福祉のサービスを受ける人たちにも笑顔が生まれます。いちごは子どもも目を輝かせて食べてくれます。「伊川谷のいちご」を大きく育っていくために、私たちと一緒に取り組んでいきましょう。

所在地
〒653-0013
神戸市長田区一番町5丁目1-1
グラムメゾンMIKURA1階B号室

電話
078-579-8310
FAX
078-579-8311

HP
<http://npo-wadati.jp/>

事業内容
福祉事業(児童デイサービス・在宅支援など)、
いちご栽培(就労継続支援B型事業)

設立
2007年

売上高
1300万円(いちご出荷売上)

従業員数
3名、パート3名(いずれも

就労継続支援B型事業部門)

インターンシップ
随時受け付け。詳細は問い合わせを。



宝塚市北部西谷地区で「一果入魂」の野菜づくり

宝塚市

株式会社 王珠



私たちの思い

土づくりと鮮度にこだわり、新鮮な野菜を収穫して、新鮮なうちに消費者に届けたいと思っています。

私たちのこだわり

健康な土づくりをしっかりととしていきたい。化学農薬は極力使用せず、有機肥料を主体とした微生物農法で、味がしっかりととした野菜づくりを行っています。

おもな作物

トマト、きゅうり、なすの果菜類を中心に、葉物類、根菜類など、多種多様な野菜を栽培しています。



外観



土づくりをしっかりと継続できる農業 都市近郊の強みを生かした野菜づくり

宝塚市の北部、西谷地区で野菜づくりを行う「王珠」。代表取締役・中西健二さんと瞳さん夫妻が、2009年にこの地に移住し、同年法人化。永続的に野菜づくりができるようにと、有機肥料を主体にした健康な土づくりにこだわります。

西谷地区に点在する畑180aと14棟のハウスで、果菜類を中心に葉物類、根菜類と多種多様な野菜を栽培。「一果入魂」をモットーに、こだわり農法に加え、昼夜の温度差が激しい気候を生かして、味の濃い野菜をつくります。都市近郊の立地を強みに、直売所や近隣スーパーの店頭に24時間以内に並ぶよう出荷し、新鮮なうちに消費者に届けます。

働く人

INTERVIEW



中西 瞳さん(36歳)

実家が養父市大屋町で造園業を営んでおり、東京農業大学で造園を学びました。結婚後、2009年から西谷で就農しました。出荷調整、管理作業、事務などが主な仕事です。造園も農業も自然の生物が相手。好きな生物に関わることが楽しいです。

夫がやりたいことを一緒に楽しくやっていきたいと思います。2人の娘(10歳、6歳)には田植えや稻刈りなど農業体験をさせ、通園・通学の途中には動物や花の名前を教えます。自然の中で仕事や子育てができるのはすばらしいです。

所在地 〒669-1211
宝塚市大原野字塩ヶ平8-1
電話・FAX 0797-91-0910
HP <http://nakaniishi-ouju.com>
事業内容 野菜の生産・販売
設立 2009年
資本金 1000万円
売上高 2000万円
従業員数 1名、パート6名



INTERVIEW OF TOP



後継者の育成・指導・援助にも尽力 宝塚市新規就農者確保事業の技術指導も

株式会社 王珠 代表取締役 中西 健二さん

実家は阪神間で農家を営んでいます。農業者大学校を卒業後就農しました。子育てしながら農業ができる環境づくりが大切で、若手農業者を増やすことは、地域活性化につながる。地域での青年農業者との活動を活発にし、後継者の育成・指導・援助にも力を尽くしたいと思っています。2019年の宝塚市新規就農者確保事業で就農者に対して、技術指導を行ってます。

インターンシップ
随時受け付け。詳細は問い合わせを。



「農業」と「6次産業」で旋風を巻き起こす実力派営農組合

加古川市

農事組合法人 八幡営農組合



私たちの思い

農業と6次産業で地域女性や高齢者の雇用を生み出し、また直売所に消費者を呼び込むことで、地域の活性化を目指しています。さらに地域農業の持続的発展に貢献します。

私たちのこだわり

地産地消、安全安心を推進するため、加工品はふあ～みんSHOP八幡の併設店「風雅亭」で製造直売しています。また農商工連携による新商品開発や販路拡大に取り組んでいます。

おもな作物

米は年間190tを生産し、JAと弁当等に加工し直売所で販売。麦は30ha作付けしたもので日本製粉へ。大豆は22tを豆腐会社に加工委託。そば2tは加工して直売所へ。



「加古川パスタ」などヒット商品を 続出する八幡町の農地扱い手集団

東播磨南北道路「八幡稻美IC」から車で5分、ふあ～みんSHOP八幡の隣に「農事組合法人八幡営農組合」があります。2005年、八幡地区6集落の全農家642戸が参加する同組合を設立。営農面積は年々増加し現在は110ha。米、麦、大豆、そばを生産しています。また、設立当初から農産物に付加価値をつける6次産業に着目し、「八幡厄神そば」や「米粉シフォンケーキ」、「八幡ロール」、「緑菜パン」など、ヒット商品を次々開発。今人気を集めているのは、兵庫県産デュラム小麦「セトデュール」を100%使用した純国産の「加古川パスタ」です。農業と6次産業による両輪稼働の黒字経営は企業や大学などの異業種からも注目を集めています。

外観



働く人

INTERVIEW



中部 敏弘さん(50歳)

市や普及センターで情報収集し2015年入職。年間作付計画やさまざまな現場作業を担当しています。害虫による病気を防止するとともに、肥料を効率良く作物に行き渡らせるため雑草の除去を工夫しています。作物の収穫量をもっと増やし、「加古川パスタ」を超える新ブランドを開発していきたいです。

INTERVIEW OF TOP



早くから6次産業に着手し 「儲かる農業」を実践

農事組合法人 八幡営農組合 代表理事 芦原 安男さん

農林水産省が6次産業化を推進し始めたのが2007年です。その2年前から当法人では「自分たちが生産した農作物には自分たちで値段を付けて売っていきたい」という強い意志のもと6次産業を手掛けてきました。その甲斐あって順調に収益を上げることができます。今後も土地改良により営農面積はますます増加する予定です。国際基準のGAPにも挑戦していきたいですね。

インターンシップ

随時受け付け。詳細は問い合わせを。



所在地	〒675-1206 加古川市八幡町船町16
電話	079-438-3950
FAX	079-438-3952
HP	https://yahataeinoukumiai.com/
事業内容	米、麦、大豆、そばの生産、加工販売業
設立	2005年
資本金	942万円
売上高	1億4000万円
従業員数	8名、パート16名



農業は生きる原点。農地を保全し、より良い形で次世代へ

加西市

株式会社 中塚農園



私たちの思い

「地域のためにできること」を一番に考えています。山田町の貴重な財産でもある農地を有効活用しながら、美しい田畠の状態で未来へ引き継ぐことが重大な責務と感じています。

私たちのこだわり

スマートアシストを導入しています。ほ場の生育状態をドローンで空撮し、データを解析。生育が遅れている箇所にはラジコンヘリで肥料を散布。効率的に優良な作物を生産します。

おもな作物

酒米山田錦を年間80t、コシヒカリ、きぬむすめ、ヒノヒカリ、あきだわらの食用米が年間20t、黒大豆は年間1tをJAへ出荷、アスパラガスは年間2tをJAと直売所へ。



外観



担い手農園と地域住民がお互い協力 風光明媚な農村風景を未来へつなぐ

加西市山田町の丘陵地には緑豊かな農地が広がっています。この田畠を手掛けるのが「株式会社 中塚農園」です。水稻20ha、黒大豆3.6ha、アスパラガスはハウス1棟4aを栽培しています。「地域の農地を守り、保全し、次世代へ渡す」をモットーとする中塚良行代表が農業をはじめたのは2004年。後継者不在に悩んでいた山田町の住民たちは、中塚代表の考え方方に賛同し、農地を託すにあたって、作業場(写真左)の土地を探したり、水管理を受け持つなど、地域の受け入れ体制を整えてくれました。中塚代表は、山田町の人々の想いをしっかりと受け止め、地域農業が持続的に引き継がれるように、経営規模の拡大、従業員数の増加を目指しています。

働く人

INTERVIEW



西山 智大さん(24歳)

2015年兵庫県立農業大学校を卒業し当社へ入社しました。水稻を担当しています。環境変化による肥料や水の調整など、代表から細やかな指導があり、しっかり学ばせてもらっています。



桑村 紗也加さん(22歳)

兵庫県立氷上高等学校農業科から兵庫県立農業大学校へ進学、2016年入社です。アスパラガスを担当しています。お酢による減農薬に取り組み、安全安心な作物の有機栽培を目指しています。

INTERVIEW OF TOP



働きやすい職場環境を整えて、 後継者を育てます

株式会社 中塚農園 代表取締役 中塚 良行さん

次世代を担う若者を育てるために働きやすい職場環境を整えています。各種保険を完備し、稻作担当者には冬場の長期休暇を、アスパラガスの担当者には週休2日体制など、独立を目指すスタッフには全力で応援します。

所在地 〒675-2425
加西市池上町271-2
電話 0790-45-8020
FAX 0790-45-8021
事業内容 水稻を中心とした複合経営
(黒大豆、アスパラガス)
設立 2004年(2015年法人化)
資本金 300万円
売上高 3000万円
従業員数 2名、
アルバイト2名

インターンシップ
随時受け付け。詳細
は問い合わせを。



特A地区山田錦の生産から販売まで自社一貫体制でのぞむ

加東市 株式会社 こうせつ・たなか



世

界に誇る「特A地区山田錦」の生産から販売まで 農家とともに“東条産山田錦”を守り続ける

酒造好適米として全国に名を馳せる「山田錦」。今では各地で栽培されている山田錦も、極上の産地と言われる「特A地区」は、三木市(吉川地区)や加東市(東条・社地区)にしか存在しません。田中米穀店として大正元年に創業して以来、100年以上にわたり同社では東条地区農家と一緒に“東条産山田錦”を守り続けています。草丈が高く粒が大きい山田錦は倒れやすく、収穫まで苦労が絶えませんが、肥料設計やライスセンター業務などを通じて約150軒の農家を支援。高品質な山田錦を全国の著名酒蔵30蔵以上に直販するほか、本社直売所では加東市産100%のコシヒカリや玄米などを販売しています。

働く人

INTERVIEW



藤原 隆文さん(34歳)

自動車整備士として約10年働き、2019年2月入社。実家が東条で農家をしていたこともあって、子どもの頃から手伝っていた農業に興味がありました。旧東条町が合併して加東市となり、住所から「東条」という名が消えてしまったことを寂しく思って

います。同級生だった田中一樹さんとともに「東条産の山田錦」の名を未来に残すため、ふるさと「東条」の農業に貢献していきたいです。

INTERVIEW OF TOP



“世界に誇る山田錦”を守り継ぐために 次世代を担う若い力で育てていきましょう

株式会社 こうせつ・たなか 取締役 田中 一樹さん

私たちがつくった「東条産山田錦」は、大吟醸づくりに欠かせない酒米として名だたる銘酒を生産する全国各地の酒蔵から大きな信頼をいただいています。私たちと一緒に世界に誇るこのブランドを守り、育てていませんか。



私たちの思い

最近は世界的に日本酒が脚光を浴びています。「東条産の山田錦は間違いない!」と全国の酒蔵から言われるために、従業員全員で栽培農家をバックアップしています。

私たちのこだわり

生産から販売まで自社で一貫して行っています。日本有数の蔵元12社が、東条の山田錦を用いて最高級の日本酒造りを目指す「フロンティア東条21」の会とは固い信頼関係で結ばれています。

おもな作物

水稻の経営面積は約15ha。約11haで山田錦を栽培(年間約50t)、約4haではコシヒカリ(同約2t)を栽培。ほかにライスセンター2カ所を運営。



外観



所在地	〒673-1311 加東市天神194
電話	0795-47-0033
FAX	0795-47-0260
HP	フェイスブック「株式会社こうせつ・たなか」で検索
事業内容	酒米(山田錦)、うるち米の生産・出荷、玄米とう精・販売、農薬・肥料販売、ライスセンター・農業委託作業業務
設立	2003年
資本金	1000万円
売上高	4億2500万円
従業員数	5名